

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	ウレミックトキシンと認知機能の関連調査
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	佐渡プロジェクト (PROject in Sado for Total health, PROST)に参加され、認知機能検査を行った 20 歳以上 80 歳以下の方
③ 概要	<p>腎臓病が進行すると認知機能が低下しますが、その原因は明らかではありません。</p> <p>私たちは腎臓病で増加するウレミックトキシンという分子群が動脈硬化など様々な合併症に影響することを検討しており、認知機能にも強く影響していると予測します。</p> <p>そのためこの研究で認知機能とウレミックトキシンの関連を調査します。関連が示唆されると、将来的に腎臓病で増悪する認知症の治療法解明につながる可能性があります。</p>
④ 申請番号	2018-0246
⑤ 研究の目的・意義	腎臓病で増加するウレミックトキシンと認知機能の関連を調査し、腎臓病で進行する認知症の機序を解明します。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025 年 12 月 31 日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	すでに匿名化されている患者背景、認知機能、血清を使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	<p>患者背景：年齢、性別、BMI、血圧、脈拍、心筋梗塞の既往、脳卒中の既往、透析期間（透析患者のみ）、総蛋白、アルブミン、尿素窒素、クレアチニン、ヘモグロビン、白血球、血小板</p> <p>認知機能： MMSE（Mini-Mental State Examination）</p> <p>血中ウレミックトキシン濃度： インドキシル硫酸、インドール酢酸、フェニル硫酸、p-クレシル硫酸、馬尿酸、4-ヒドロキシフェニルアセテート、フェニルアセチルグルタミン、プロリルヒドロキシプロリン、トリプトファン、セロトニン、シスタチン C、<math>\beta_2</math>-ミクログロブリン（株式会社クレハで測定）</p>
⑨ 利用の範囲	新潟大学 腎・膠原病内科、血液浄化療法部、臨床研究推進センター、臓器連関学寄附講座、株式会社クレハ
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部 山本卓
⑪ お問い合わせ先	新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部 Tel 025-227-2770 メール yamamots@med.niigata-u.ac.jp